

# 産業成長戦略の次のステージの具体的なポイント

## ～目次～

### 【専門分野】

農業分野	1
林業分野	2
水産業分野	4
商工業分野	6
観光分野	7

### 【連携テーマ】

地産地消外商戦略	
（地産地消、食品加工の推進、地産外商）	8
（「ものづくりの地産地消」の推進）	9
新エネルギーを産業振興に生かす	10
中山間地域の産業づくり	11
人材育成・人材確保	12

## 《現戦略のバージョンアップ》

第1の柱：競合に打ち勝つ「高知ブランドを再構築」から「高知ブランドの確立」へ

- ① 生産から流通・販売までの一元的支援体制の「構築」から「強化」へ
  - ⇒ 環境保全型農業などの「こだわり」を「見える化」する品目のラインアップの拡充
  - ⇒ パートナー量販店との連携強化による「高知野菜コーナー設置店の拡充」「量販店PBへの対応」等の推進
  - ⇒ 「環境」と「安全・安心」をキーワードに、メディアを活用した総合的なPR戦略の強化（高知ブランドの訴求力を高める取り組み）
  - ⇒ 「学び教えあう場」を通じて生産出荷指標・計画を実現する取り組みの促進
- ② まとまりのある園芸産地の「再構築」
  - ⇒ 県全体の生産技術のレベルアップのために「学び教えあう場」を充実
  - ⇒ 「学び教えあう場」を通じて生産出荷指標・計画を実現する取り組みの促進
- ③ 環境保全型農業のトップランナーの地位を確立
  - ⇒ IPM技術の全品目への普及を加速化
  - ⇒ 環境に配慮した新しい施設園芸システムの構築
- ④ 生活できる所得を確保するこうち型集落営農の実現
  - ⇒ こうち型集落営農の県内全域への拡大を図るための「集落リーダー」と「コーディネーター」の育成
  - ⇒ こうち型集落営農をはじめとする集落営農組織の取り組みのステップアップ支援
  - ⇒ 加工等への取組による経営の多角化を通じた「拠点ビジネスづくり」の推進
- ⑤ 品目別総合戦略の実現 ⇒ 関係団体と一体となって、各品目の目標達成に向けた取組を強化
- ⑥ 担い手の育成
  - ⇒ 「アグリ体験塾」「新規就農研修支援事業」「都会で学ぶ農業技術研修」など就農希望者に対する技術習得段階までの支援の充実
  - ⇒ 農業技術研修を終了した者等への就農支援制度の創設
  - ⇒ 雇用就農の拡大につながる企業的経営体の育成に向けた支援の充実

第2の柱：「新たな取組による農業・農村の発展」から「6次産業化への取組による拠点ビジネスづくり」へ

- ⇒ ① 6次産業化を推進するため、農業分野における加工等への取組を強化
- ⇒ ② 農産物加工やグリーン・ツーリズムなどの取組への支援を強化し、農業者の所得向上や雇用の拡大につながる「拠点ビジネスづくり」を推進

《戦略の柱の変更》

- |                |   |                 |
|----------------|---|-----------------|
| 1 林業・木材産業の再生   | ⇒ | <u>以下の3つに分割</u> |
|                |   | 1 原木生産の拡大       |
|                |   | 2 加工体制の強化       |
|                |   | 3 流通・販売体制の確立    |
| 2 木質バイオマスの利用拡大 | ⇒ | <u>4 へ移動</u>    |
| 3 森のものの活用      | ⇒ | <u>5 へ移動</u>    |
| 4 健全な森づくり      | ⇒ | <u>6 へ移動</u>    |

《現戦略のバージョンアップ》

**1. 原木生産の拡大**

(1) 森林・林業再生プランを踏まえ、森の工場を『バージョンアップ』

- ① 個別の森林作業の委託 ⇒ 森林経営(育成権を含む)を委任……“受任者”＝“資源管理者”の経営の計画性向上
- ② 効率的な作業方法の普及指導により、事業者の生産性を向上

(2) 生産性の向上と原木の増産・安定供給のため、『間伐中心』 ⇒ 『状況に応じ、間伐と皆伐をベストミックス』

- ① 搬出間伐の季節性を緩和し、高性能林業機械等の稼働率向上を図るなど、年間を通して生産性を高めるための皆伐を促進
  - ② 搬出間伐に比較して林地残材の大量集積が容易な皆伐を促進し、林地残材のバイオマス利用を拡大
- 【4. 木質バイオマスの利用拡大の(3)の①に再掲】**
- ③ 増加が予測される皆伐跡地への対応の検討

**2. 加工体制の強化**

(1) 大型製材工場の『立地の実現』及び中小加工事業者の共同・協業化の推進

- ① 全国的な販売チャンネルを持つ県外製材企業を誘致して大型製材工場を整備し、高品質な県産材製品の大量・安定的な生産、販売を推進
- ② 生産規模が零細な県内製材工場の中から、意欲のある企業を組織化し、大型製材工場の設立を促進
- ③ 大型製材工場に安定的に大量の木材を供給するため、国有林、木材の生産事業者、流通事業者等が連携して強固な原木供給システムを構築

(2) 単板（合板材料）工場の『整備』

- ① 素材の増産により増加するB材の利用を促進するための単板工場を誘致等により整備

(3) 県内事業者、地域のブランド化戦略を『再構築』

- ① 地域でのブランド化を進めようとする県内事業者及び組織等への支援策の検討

### 3. 流通・販売体制の確立

- (1) 『大消費地に設置した流通拠点』での販売を拡大
  - ①土佐材展示会やセミナーなどを単発的に終わらせることなく、組織的かつ継続的な外商活動を推進
  - ②土佐材セミナーを商談会形式へ進化(成約件数の増)
  - ③ロット利用が見込めるプレカット工場を持つ事業者などを流通拠点化
  
- (2) 県内産地での展示会を商談会に『ステップアップ』
  - ①県外事業者を県内産地に呼び込む仕組み・体制の強化

### 4. 木質バイオマスの利用拡大

- (1) 木質バイオマスの『多面的利用』の推進
  - ①木質バイオマスの利用推進方法を『エネルギー利用重視』⇒『多面的(マテリアル+エネルギー)利用』
  
- (2) 木質バイオマスの効率的な『エネルギー利用体制』の推進
  - ①地域ごとの実情に即した効率的な木質バイオマスの利用システムの普及を加速化
  - ②共同処理や技術開発による利用コストの低減
  
- (3) 木質バイオマス製造事業者に安定して『原料を供給するための伐採搬出』の促進
  - ①搬出間伐に比較して林地残材の大量集積が容易な皆伐を促進し、林地残材のバイオマス利用を拡大 **【再掲:1の(2)の②】**
  - ②自伐林家等の小口生産者からの林地残材の集荷を拡大

### 5. 森のものの活用・・・特に『バージョンアップ』として整理しない。改善は次のとおり。

- ・品目、資源とも地域ごとに独自性があるため、地域での重要な換金品目に位置づけて、原則「地域アクションプラン」で個別案件ごとに対応
- ・産業成長戦略では、『販売ツールに対する助成等』の総括的な支援を検討

### 6. 健全な森づくり

- (1) 森林・林業再生プランによる『集約化・搬出間伐のスキームから取り残された間伐手遅れ林分』への対応

# 産業成長戦略 水産業分野 ～次のステージの具体的なポイント～

## 《現戦略のバージョンアップ》

生産物の質の向上及び市場競争性の導入を通じた産地入札価格の向上

### ○入札方法の改善による鮮魚の商品価値の向上

入札時間やプール売りの見直しなど入札方法を改善するとともに、主要な魚種について県内での取引時の規格を統一することにより、鮮魚の商品価値の向上と、魚価への反映を図る。

### ○価格形成力の強化のための市場統合の加速化

必要なハード整備への支援等により市場統合を加速化し、価格形成力を強化する。

県漁協による「土佐の魚」への付加価値向上

### ○販売子会社の設立による買取販売の強化

高知県漁協の買取販売を軌道に乗せるため、買取販売等に関する中期計画(H23策定)の実践を支援する中で、直販店舗など採算性の目途が立った部門から運営を順次販売子会社に移行し、採算性の確保と競争力の強化を図る。

「土佐の魚」の消費拡大

### ○高鮮度流通を推進するための新たな物流体制の構築

鮮度にこだわった水産物の地産外商を推進するためには、物流の改善による時間距離の短縮が喫緊の課題であるため、自社便を有しない漁協や買受人と物流業者が連携し、県外の消費地市場において鮮度面で勝負できるよう物流体制の構築を支援する。

### ○買受人の組織化と主体的な地産外商活動の展開

戦略的な地産外商の取り組みを展開するため、県外送りを主体とする買受人の組織化に取り組む。

## 《新たな項目の追加》

### 生産物の量の確保及び質の向上

#### ○企業活力を活かした漁業の振興

新たな養殖企業の誘致や、地元企業の技術力を活かしたカンパチ種苗（現在は大半を中国から輸入）の生産による養殖用種苗の地産地消を推進する。

### 水産加工の産業化に向けた戦略

#### ○水揚げの集約化によるしらす加工業等の振興

現在、しらす機船船びき網漁船はいくつかの市場等に分散して水揚げしているため、生産者やしらす加工業者にとって非効率となっていることから、関係者の理解を得て、高知新港への集約化を実現することで、しらす加工業と機船船びき網漁業の共存共栄を図る。

#### ○漁業者による六次産業の創出

個々の漁業者が取り組む新製品の開発や新たな販売方法の導入等について支援をし、水産加工の企業化を推進する。

### 人材育成

#### ○地域の中核を担い経営感覚に優れた漁協職員や漁業者の育成

先進的な取組みを行う他産業のリーダーとの交流等により、地域の中核を担い経営感覚に優れた漁協職員や認定漁業者等の育成・確保を進める。

※認定漁業者とは、今後5年間で15%の所得増を達成する漁業経営改善計画を、知事または大臣が認定した漁業者

### 《現戦略のバージョンアップ》

1. 総合的な支援体制の構築(中核企業等育成支援事業)
  - ・事業の見直し、これまでの人的ネットワークを活かした産振センターのコーディネーター、アドバイザーによる個別のビジネスマッチングの充実
2. 販路の拡大
  - ・見本市、商談会の拡充
  - ・防災産業や製紙産業等の新たな分野の見本市、商談会の開催の検討 等

### 《新たな項目の追加》

1. 防災関連産業の振興に向けた取り組み
2. 県内企業の設備投資への支援のあり方の見直し
  - ・企業活動の維持・発展(生産性向上と雇用維持)に向けた支援の検討
  - ・新規雇用者数を要件としない支援の検討
  - ・防災の視点(BCPも含む)からの支援の検討

○次期ステージの目指す方向

これまでの取組によって得た財産・成果の活用、地域資源の磨き上げ

⇒ 持続可能な観光地づくり(博覧会がなくても魅力的な観光地へ)



《現戦略のバージョンアップ》

**1 地産地消**

- 直販所を拠点とした食材の地域循環の仕組みづくり(マッチング支援)
- 「おいしい風土こうちサポーター」などの活動の活性化による地産地消の県民運動の推進
- 県内量販店での県産品コーナーの設置促進

**2 地産外商**

- 「まるごと高知」を拠点とした外商活動の強化
- 「まるごと高知」の運営の不断の改善
- 関西、中部地区におけるビジネスマッチング機会の拡充
- これまで培った人脈、様々なメディアを活用した主要品目の外商拡大

**3 貿易振興**

- 圧倒的に強い品目(ユズ)を中心に販路を拡大(フランスでのユズの展開を東南アジアへ)
- リーディング企業を中心にさらなる販路拡大(複数の売場の確保、業務筋への展開)を支援し、全体の底上げに

**4 食品加工**

- 基本の徹底の継続(衛生管理、食品表示)
- マーケット・イン型商品開発の支援
- 企業間連携による高知の強みを生かした商品開発の支援

《現戦略のバージョンアップ》

◆「ものづくりの地産地消」の促進

(次のステージの方向性)

ものづくりの地産地消のさらなる展開を図ることにより、産業のすそ野を広げ、地産外商につなげる。

・総合的な技術展示会の開催

平成24年度については、「食」のテーマに加え、他分野への展開も視野に入れた総合的な技術展示会の開催を検討。

《新たな項目の追加》

《現戦略のバージョンアップ》 ～ 取り組みの加速化 ～

国における東日本大震災を受けたエネルギー基本計画見直しの動きや、再生可能エネルギー特別措置法（全量固定価格買取制度）の成立を踏まえて、取り組みを加速化

**1. 恵まれた新エネルギー資源を県内で生かしきる推進体制の構築**

（1）地域参画による事業化推進体制の検討・構築

**2. 新エネルギー関連企業の育成・誘致**

**3. 太陽光発電の導入促進**

（1）メガソーラーについて、誘致活動だけでなく地域が参加した発電事業の取り組みを促進

（2）公共施設等について、災害発生時の非常用電源としての活用を検討

《現戦略のバージョンアップ》

- 人的、資金的な支援を通じて、現在の戦略を引き続き継続していく。
- 6次産業化に向けたサポートを推進していく。

《新たな項目の追加》

《現戦略のバージョンアップ》

- ・計画の次のステージの具体的なポイントを踏まえた育成を目指す人材の明確化
- ・育成を目指す人材に応じて選択可能なカリキュラムの作成
- ・既存の研修・講座等との役割整理と実施方法の検討
- ・「知の拠点」として整備する永国寺キャンパスの機能との調整

《新たな項目の追加》